

平成28年度第1回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	平成28年7月19日(火) 16:00~18:10	
場 所	エルガーラホール 多目的ホール1	
出席者	委員	福岡市医師会 副会長 寺坂 禮治 福岡県看護協会 会長 花岡 夏子 公認会計士 行正 晴實
	事務局	福岡市保健福祉局長, 同理事, 同健康医療部長, 同医療事業課長
	病院機構	理事長, 副理事長, 運営本部長, 法人運営課長, 福岡市立こども病院事務部長, 同総務課長, 同医事課長, 福岡市民病院事務部長, 同総務課長
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 局長挨拶 3 委員紹介等 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成28年度評価委員会の進め方について (2) 平成27年度財務諸表等について (3) 平成27年度業務実績について 5 その他 	
配付資料	<p>資料1 平成28年度地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会の進め方 資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 財務諸表等 資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成27年度に係る業務実績報告書</p> <p>参考資料1-1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第2期中期目標 参考資料1-2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第2期中期計画 参考資料1-3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 中期目標期間評価実施要領 参考資料1-4 中期目標に係る事業報告書及び業務実績に関する評価結果(イメージ) 参考資料2-1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成27年度決算について 参考資料3-1 平成27年度業務実績報告における各小項目の自己評価結果一覧 参考資料3-2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領 参考資料3-3 主な指標値にかかる全国の類似病院との比較 参考資料3-4 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成26年度の業務実績に関する評価結果報告書</p>	

(1) 平成 28 年度評価委員会の進め方について

○事務局

【資料 1 について説明】

(2) 平成 27 年度財務諸表等について

○病院機構（運営本部）

【資料 2 について説明】

○委員長

我々の病院とは組織が違うので多少わかりづらいところがありますが、あまり馴染みのない運営費負担金とはどういったものでしょうか。

○病院機構（運営本部）

運営費負担金につきましては、いわゆる市からの繰出金でございます。救急医療や高度特殊医療等の不採算医療に係る経費を市が負担するというものでございまして、総務省が示す基準によって、繰り出しができる分野が定められております。

市の直営時代は現金収支差として繰り出しており、いくら頑張ってもあまりモチベーションが上がらないような仕組みになっておりましたが、独立行政法人化後につきましては、経営努力による部分とさきほど申し上げた繰出しが必要な部分に分けられており、いずれも総務省の基準に基づき行っております。

○委員長

ここ数年、診療報酬の改定や消費税の増等々で病院経営は苦しくなっており、特に 100～200 床程度の小規模～中規模の病院への影響は非常に大きくなっています。

そういったことを考えますと、特に市民病院については、経営も難しいと思われる中、医業収益で 57 億円というかなり高い数字を出されているのは、非常に経営努力をされているのだらうと思います。それは恐らく、診療内容が高度な部分に特化しており、また、地域の需要があるところで行われているということもあるからだと思えますし、この数字は立派なものだと思います。

また、こども病院については、小児に特化したところで福岡市の誇りでもあるし、本当に素晴らしい病院だと思います。移転前に診療制限をしていたこともあり、今回、大幅増になっていますが、数字を見ると旧病院のときと同等またはそれ以上に回復しており、素晴らしいと思います。

○委員

負債総額が 200 億円を超えたことにより、ルールに則って 27 年度から法定の会計監査を受けており、監査人はより正しく厳しい目線でしらみつぶ的に色んなところを見たと思います。その結果、過年度分の処理や解釈に誤りがあったということで、臨時損益が高く出たものと理解しています。そこが今回のポイントだと思います。

○委員

両病院とも、とてもよく頑張っているというのが分かりました。

データの中で細かいことになると思いますが、参考資料 2-1 の中で、こども病院の外来患者数も入院患者数も伸びているのに、「1人1日あたり入院単価」が26年度から落ちている理由を教えてくださいと思います。

また、市民病院について、カテーテルの専門医を採用してやっているという説明がありましたが、「救急搬送件数」が少し落ちているのはそういったことも原因なのか教えてくださいと思います。

○病院機構（こども病院）

こども病院の入院単価が落ち込んでいる理由の一つとして、27年度に大きく件数が増えている救急搬送の中に、例えば熱性けいれんなど入院単価が低いものが含まれていることがあります。もう一つは、産科の入院単価が低いことが原因です。これらにより、単価の高い心臓外科手術などの構成比率が相対的に減ったという状況です。

○委員長

お産は何件くらいですか。

○病院機構（こども病院）

昨年度は概ね250～300件程度と増えてきております。

産科病棟につきましては、診療報酬上、一般病棟の入院基本料のみであるため、患者一人一日当たりの入院単価が約4～5万円でございます。その産科病棟が旧病院時代の4床から現在では24床まで増えており、病床全体に占める割合がおよそ5倍になっていることから、相対的に全体の入院単価が押し下げられたという状況でございます。

○委員長

救急搬送件数が、突然、倍増したんですね。

○病院機構（こども病院）

救急車は一切断らず、全て受け入れるようにしているため増えております。

なお、こども病院は地域医療支援病院でございますが、その要件として、年間1,000件の救急搬送患者の受入れという努力目標があり、それに向けて努力した結果でございます。

○病院機構（市民病院）

市民病院の救急搬送件数が26年度実績と比べて、約200件減少した点についてでございますが、救急患者の入院率は概ね50%程度でございますので、救急搬送件数の減に伴って、新規入院患者数も約100人（H26：4,647人→H27：4,510人）減少したものと考えております。

これに関しましては、消防局のご都合もありますので、我々の努力だけで搬送件数を伸ばすことはできません。しかしながら、その中身を見ますと、入院者における重症者の割

合が高くなっており（26年度：15%→27年度：17%）、より重症な患者を市民病院に送っていただいたのではないかと考えております。また、そのあたりが入院単価の増につながったものと考えております。

○委員長

市民病院も含めて、公立・公的病院はこのような傾向にあります。

(3) 平成 27 年度業務実績について

○病院機構（運営本部）

【資料 3 について説明】

○委員長

メディカルラリーに関して、これは院外に出たのデモンストレーションですが、市民病院は通算 3 回優勝しており、職員が生き生きしている印象です。素晴らしいと思います。

○委員

「第 2-1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進」について、こども病院は自己評価が 3 となっておりますが、周産期センターの人員整備や地域連携の強化など頑張っているようですので、私は評価 4 でもいいのではないかと思います。

○委員長

私も同感です。新しい体制で人もかなり増やしているし、救急件数の倍増にもうまく対応されている。

○病院機構（こども病院）

ありがとうございます。これについては、紹介率などの実績値が目標値に達していないということがありましたので、自己評価を 3 としているものでございます。

○委員

昨年もそうでしたが、こども病院は、福岡市内からの患者は少なく、県内・県外からが多いので、紹介率に関しては難しいところがあると思いますし、また、NICU や GCU についても、受入先が充実しておらず、在宅に持って行くというのは難しいと思いますので、実績については妥当なところではないでしょうか。

○委員

こども病院の国際医療支援センターというのがあると報道で見ましたが、これはいつからなのでしょうか。

○病院機構（こども病院）

国際医療支援センターは、平成 28 年 4 月に開設しましたので、28 年度の評価対象になるうかと思えます。

27 年度につきましては、説明文書や同意書等の英訳に取り組んだというところがございます。

○委員長

新病院の開院後という激変期ですので、結果は急に出るものではなく、あとから段々と付いてくるものだと思います。しかし、スタッフをよくまとめられていることもあり、今後への期待も込めて、評価を 4 にしてもいいのではないかと思います。

○委員

評価は今回確定するのですか。

○事務局

本日は、病院機構の自己評価に対するご意見やご質問などをいただき、それを受けて、次回（第 2 回）の委員会にて、評価委員会としての評価案をお示しし、評価を確定していただく予定でございます。

○委員長

ふくおかハウスに関しては、テレビにも何度か出たと思いますが、まだ少し認知度が足りないような気がします。「こういうことをやっています」と、もっとコマーシャルしてもいいのではないのでしょうか。

○病院機構（こども病院）

ふくおかハウスにつきましては、1 室のみ予備で確保しておりますが、それ以外は、満室に近い利用状況が続いております。

○委員長

運営は病院のほうでやっているのですか。

○病院機構（こども病院）

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営しております。

○委員

年末に市長が発表した「平成 27 年福岡市政の 10 大ニュース」の 9 位に、国家戦略特区の活用と合わせてふくおかハウスもランクインしていることでもありますので、パラパラと記載するのではなく、もう少し強く、まとめて書いたらいいのではないかと思います。

○委員長

市民病院は、ボランティアの登録は何名いるのですか。

○病院機構（市民病院）

現在、常時いらっしゃる方は2名でございます。その他に植栽の手入れなど色々な団体の方に来ていただいております。

○委員

「第2-2-(1) 患者サービスの向上」について、市民病院は自己評価が3となっておりますが、会計窓口の拡張による待ち時間短縮などの取組みもされておりますし、患者満足度調査に関しても、昨年度実績から少しは下がっておりますが、90点取っておりますし、自己評価が少し厳しいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

○病院機構（市民病院）

患者満足度調査に関しましては、26年度までは任意の月の入院患者を対象に実施しておりましたが、27年度は全入院患者を対象に行ったものでございまして、実績として1ポイント下がっておりますが、母数が全然違うものだということをご理解いただきたいと思います。

○委員

自己評価が低いのではないかと思いますのですが。

○病院機構（市民病院）

ありがとうございます。26年度と同じくらいかと考え、自己評価を3としたものです。

○委員長

こども病院のランチゼミは、昼食を食べながら、というものでしょうか。

○病院機構（こども病院）

後期研修医は大変忙しいため、昼食を兼ねて行っている勉強会です。その時は、患者がいてもオーベン（指導医）が診て、後期研修医がランチゼミに必ず参加できるようにしており、好評を得ております。

○委員長

市民病院の認定看護師等資格取得支援制度とは、どのようなシステムなのでしょう。

○病院機構（市民病院）

認定看護師の育成のための制度です。認定看護師におきましては、資格を取得するのに、受講料などで100万円ほど必要でございますが、これを全て個人で負担するのは厳しいということで、半分程度を補助しているものでございます。

市民病院において、この制度を活用し、これまでに認定看護師の資格を取得したものが10名で、専門看護師のコースに入っているものが1名おります。これにより、現在、市民病院の認定看護師は12名となっており、当該スタッフは看護部の中でも中核的な業務をこなしている状況でございます。

○委員長

普通の病院では、この制度はなかなか作りづらいので、いいですね。

また、市民病院では医師を何名か増やしていると思いますが、その根拠はどういったことですか。

○病院機構（市民病院）

循環器内科2名と血管外科1名を増やしております。いずれも最近ではカテーテル治療のニーズが非常に高くなってきており、何とか対応するために九州大学病院へ相談したところ、循環器内科と血管外科よりそれぞれ派遣していただきました。

また、市民病院は第2種感染症指定医療機関でございますので、新型インフルエンザやMERS等に対応するため、市立病院として感染症内科を充実させるということで、当初2名配置していただきましたが、うち1名がすぐに留学したため、現在1名となっております。

○委員長

そういった高度な部分を狙ったり、あるいは、感染症対策で病院を守るといったような努力で収益をあげられているんだらうと思います。経営面で厳しい状況にある、普通の病院とは少し違うなという風に感じました。

また、こども病院に関しては、参考資料3-3で全国の類似病院との比較を行っておりますが、小児病院というのはそれぞれ特化して特色があるでしょうから、こういったベンチマーキングは難しいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

○病院機構（こども病院）

おっしゃるとおり、こども病院では癌を扱っておらず、その点が他病院との比較でかなり異なる部分だと思います。それぞれに特徴を持っている病院ばかりなので、資料を見ていただくと分かるように、極端に違うところもあります。そういったところはなんらかの仕組みが違うのだらうと思います。

○委員長

ただ、そのような中で入院単価がかなり高いのは、循環器でしょうか。

○病院機構（こども病院）

やはり心臓血管外科の手術件数が多いのが、こども病院の特徴です。

○委員長

「信頼される医療の実践」につきまして、こども病院の心臓領域に関しては、「世界に冠

たるこども病院」だと思えます。

○委員

法令遵守と情報公開に関して、例えば、他の機関では、契約業務が適正だったかをチェックする第三者を含めた「監視委員会」を作っているところがありますが、病院機構においては、それに見合うようなものはあるのでしょうか。

○病院機構（運営本部）

病院機構におきましては、そのようなものは設けておりませんが、両病院に跨るような診療材料については、運営本部において一括契約を行うなど、事務手続きの効率化や価格面の交渉による経費削減といった関わり方をしているところでございます。

○委員

そういった一体的な取組みについても、どこかに書いてもいいと思います。

また、こども病院の薬剤管理指導件数が大きく伸びているのは、移転したからという理解でいいのでしょうか。

○病院機構（こども病院）

これまでの入院時の服薬指導のみでなく、退院前の指導を新たに開始したことにより飛躍的に件数が伸びた、というものでございます。

○委員

その辺についても、どこかに記述してもいいのではないのでしょうか。

○病院機構（こども病院）

45 ページに記載しているものがそれに当たります。

○委員

電力の契約は、九州電力ですか。

○病院機構（運営本部）

九州電力です。

○委員

例えば、民間企業のように、他のところの検討などはされたのでしょうか。

○病院機構（市民病院）

そういった検討も必要だと思っており、今後の検討課題であると考えております。

○委員

空調は電気ですか。ガスですか。

○病院機構（市民病院）

ガスボイラーと電気の併用です。

○委員

患者用の駐車場が有料と記載がありましたが、職員や業者に関しては、どのようになっているのでしょうか。

○病院機構（こども病院）

新病院への移転を機に、職員用につきましては月額 3,000 円を徴収し、業者につきましては一般用を有料で利用していただくようにしております。

○病院機構（市民病院）

市民病院につきましては、来院者用の駐車場のみで、職員用はございません。また、業者用につきましても特段ございませんが、地下駐車場にスペースがある場合は、利用を認めているところでございます。

○委員長

両病院の SPD の導入状況はいかがでしょうか。

○病院機構（市民病院）

市民病院につきましては、仕組みそのものは 10 数年前から独自の取組みとしてございましたが、28 年度から院外 SPD というかたちで導入したところですが、今回は、27 年度の評価ということでございますので、「SPD に取り組む」という表現に留めております。

○病院機構（こども病院）

こども病院につきましては、費用の削減の他、先ほどの薬剤指導件数の増加にも関係がございます。これまでは薬剤師が薬剤の管理や棚卸などで手を取られていた部分がありましたが、SPD 導入により、薬剤師が病棟業務を行うことができるようになり、指導件数が大幅に伸びたというような効果もあったと聞いております。

○委員長

ちなみに業者はどちらですか。

○病院機構（市民病院）

市民病院は、山下医科器械(株)でございます。

○病院機構（こども病院）

こども病院は、(株)キシヤでございます。

○委員

県の「屋外広告景観賞」の最優秀賞を受賞されており、受賞の理由が「こどもの目線にたっている」ということだったようですが、それはいつ頃でしょうか。

○病院機構（こども病院）

受賞は28年度でございます。

○委員

こども病院らしい内容なので、是非、来年度は載せていただきたいと思います。

また、別の評価機関では、ホームページへのアクセス件数などを、客観的な有用な情報として分析しているということも聞きますが、そのようなことはされているのでしょうか。

○病院機構（市民病院）

市民病院につきましては、27年度に15万件のアクセスがあり、一番多いのは市内で全体の43.6%、2番目が大阪市、3番目が東京都港区でございます。これは恐らく、医療関係企業やコンサルタントなどが情報収集のために閲覧しているものと推測されます。また、外国からも少数ではありますがアクセスがございます。

○病院機構（こども病院）

こども病院につきましては、27年度で141万件のアクセスがあり、アクセスの多いページの分析を行っております。一番はトップページで約28万件、続いて各診療科のページが約21万件、それ以外では病院のパンフレットや外来診療担当医表、広報誌などもアクセスが多い状況でございます。アクセスが多いページというのは、それだけ患者にとって必要な情報が多いということで、日々チェックしながら更新していきたいと考えております。

○委員

アクセス数はずっと増えてきているのですか。

○病院機構（こども病院）

こども病院のホームページは、旧病院時代は職員の手作りで作成されており、新病院を機にリニューアルしたものですので、それ以前の情報というはございません。

○委員

こども病院は、27年度に医師も看護師も大きく増やしていると思うのですが、新人の離職率を教えてくださいたいのですが。

○病院機構（こども病院）

こども病院につきましては、27年度に新卒で入職した者が56名で、うち退職が3名ですので、離職率は5.3%でございます。

○病院機構（市民病院）

市民病院につきましては、27年度に新卒で入職した者が29名で、うち退職が2名ですので、離職率は6.9%でございます。

○委員

福岡県は、全国平均より高く7.8%なので、それと比べると両病院とも、非常に低いですね。

その他

○委員長

次回の委員会では、本日、皆さんからいただきました意見等を踏まえての委員会としての評価案を提示させていただき、その評価案をご確認いただきたいと思います。そして、財務諸表の承認の際の意見の最終確認をいただきたいと思います。

なお、評価案について、病院機構からの「評価に対する意見の申し立て」の機会を設けることとさせていただきます。

○事務局

【第2回の日程等について説明】

それでは、本日の委員会は、これで終了させていただきます。